

検討会の結果

議事内容

(1) 御嶽山噴火に伴う木曾川上流域水質保全検討会の設置について

- ・木曾川水源地域の水質保全は、下流域や受益地域にとって重要な問題であり、連携協力して対応していくことを確認した。

(2) 水質調査結果について

- ・噴火後から水質調査を実施しているが、農上工用水の取水においても通常の取水が行われており、木曾川については、現時点までに著しい異常事象は認められていない。

(3) 王滝川の現状と対策案の検討

- ・当面、牧尾ダムの放流に当たって、影響を最小限に抑えるよう放流方法の検討や関西電力ダムの放流運用と連携し希釈するなどの方法を検討することを確認した。
- ・水資源機構において試験放流及びモニタリング計画案を作成し次回検討会に諮る。

(4) 水質監視体制

- ・関係機関が連携・協力して水質調査を行い情報提供と共有を速やかに行うことを確認した。詳細について、別途調整する。

(5) 今後の取り組みについて

- ・融雪期に濁水の流入が懸念されるため、貯水池水質保全対策等、各種対策について今後検討していくこととした。
- ・事象が深刻化した場合に備え、希釈するための味噌川ダム等の放流について条件や運用手続きについて早期に検討していくこととした。